

ぐんぐんぴっぴ

(就学前)



早いもので今年も残すところあとひと月になりました。

町のいたるところにクリスマスのイルミネーションや、クリスマスソングを耳にする季節ですね。かわいい子供たちの為に、サンタさんも動き出すところではないでしょうか？

ぴっぴは保護者同室の療育を通して、**保護者の方と一緒に**お子さんの理解の仕方や特性について考え、お子さんの得意な事や課題を見つけたり、お子さんにとって有効な支援について考えることを大切にしています。

保護者の方と同じポイントでお子さんを観察できるように、活動のねらいや見ていただきたいポイントを活動前にお伝えするようにしています。そうすることで保護者の方と同じポイントでお子さんを見ることができます。

また、活動後に保護者の方と一緒にお子さんについて共通認識を持つことができやすくなります。また、ぐんぐんぴっぴだけでうまくいく支援を考えるのではなく、ご家庭や園などのお子さんのすべての生活の場面へ繋がる支援を保護者の方と一緒に考えていくことを大切にしています。

11月のグループ活動で、年長児さんは就学に向け通学を想定した『歩く』活動をしました。活動のめあては、活動を通して、『わが子について把握し、必要な準備やサポートを考えよう』です。

就学に向けて様々な準備や練習を行う必要があります。通学もその一つです。

ぴっぴの療育の中だけでは、不十分です。なぜなら、一人ひとりのお子さんの通学方法や通学中の交通環境、お子さんの姿は違うのですから。ご家庭で取り組んでいただく必要があります。決った方法で準備をすれば大丈夫というわけではありません。

お子さん一人ひとりに合わせた準備をするからこそ意味があるのだと思います。ご家庭で取り組む前に、お子さんにどのような課題があるかしっかりと把握し、準備や必要なサポートを考えていくことにしました。

お子さんたちに、『歩く』活動の前に2つだけ約束をしました。

1つは、『車に気を付けて歩くこと。』

2つ目は『一列になって前の人について歩く事。』です。

あるグループでは、歩き始めると、道端の草や石ころが気になり寄り道をしてしまいました。寄り道した子の後ろの子は、その子を追い越せないで困った様子で待っています。

「ねーねー」と早く歩いてほしいように言葉をかけますが、寄り道した子を追い越そうとはしませんでした。

また、先頭の先生が細い通りから車道に出るときに、止まって左右の確認をしてから車道に出たことに誰一人気が付いていませんでした。歩くことに必死だったのかもしれませんが。

活動後、保護者の方と振り返りをしました。

まず保護者の方の率直な感想をお聞きしました。

「道端の草や石ころが気になって、列から外れてしまっていた。」

「車道に出た時に先生が、止まって右左をみていたがそれに気が付かず前の子について車道に出てしまった。」

「一列になって前の人について歩くという約束がきっちり入っていて、何があっても追い越そうとしなかった」

「ちゃんと歩けていたが、先生の後ろだったからかなと思う。並ぶ順番は重要だと思う」など、お子さんそれぞれの通学の課題が見えた方が大勢おられた様でした。



次にお家でできる準備やサポートは何ですか？とお尋ねしたところ、

「通学のルールを事前に確認する」

「歩く順番に気を付けてもらえるように班の人をお願いしてみる。」

「家から小学校までの実際の通学路を歩く練習をする」

「登校班のメンバーを確認する」

「姉任せにするのではなく、入学してしばらくは私(母)も通学班について歩いて行こうと思います」

などのご意見をお聞きすることが出来ました。

他の保護者のご意見をお聞きし参考にしたり、わが子に取り入れようとされる保護者の方もおられました。

年長さんたちが小学校に入学するまでに、あと約4か月あります。

ぴっぴのグループ活動で、**保護者の方と一緒に**お子さんの歩く姿を見ての色々な気づきがありました。

もしかしたらこんな問題が起きるかも！と予測を立てることも出来ました。また、入学までにどんな準備をするか、どんなサポートを用意するかが具体的に変わった方もおられました。みんな同じ準備やサポートやこうすればうまくいく必勝法があるわけではありません。実

際のお子さんの姿からお子さんに合った準備やサポートを考えることがとても大切だと思います。

そして、この活動の後に、数名の保護者の方がお子さんと一緒に通学路を歩いてみたというご報告を頂きました。

これからも**保護者の方と一緒に**お子さんについて考えていくことを大切にしていきたいと思います。

ぐんぐんびっぴ スタッフ

N

プライバシー保護のため、画像を差し替えます。

先生を先頭に歩く年長さん

プライバシー保護のため、画像を差し替えます。

子どもたちの歩く様子を後ろから観察して歩く保護者のみなさん